

埼玉の豊かな 水とみどりを 守り育む分科会

水辺空間の持続可能な
環境課題解決に向けた
検討部会



部会における背景・課題等について

本分科会の設置目的

県民、企業・団体、行政など多様な主体が、それぞれつながりつつ、「ひとり一人が主役」となって行動し、**豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉を実現する。**

本部会では、健全な自然環境を土台にした、持続可能な「川の国埼玉」の実現に向けて



調節池をテーマに、洪水時には私たちの生命と財産を守る「**治水**」と水辺の「**生物多様性**」「**地域振興**」の両立を目指す

大森調節池における取組内容について

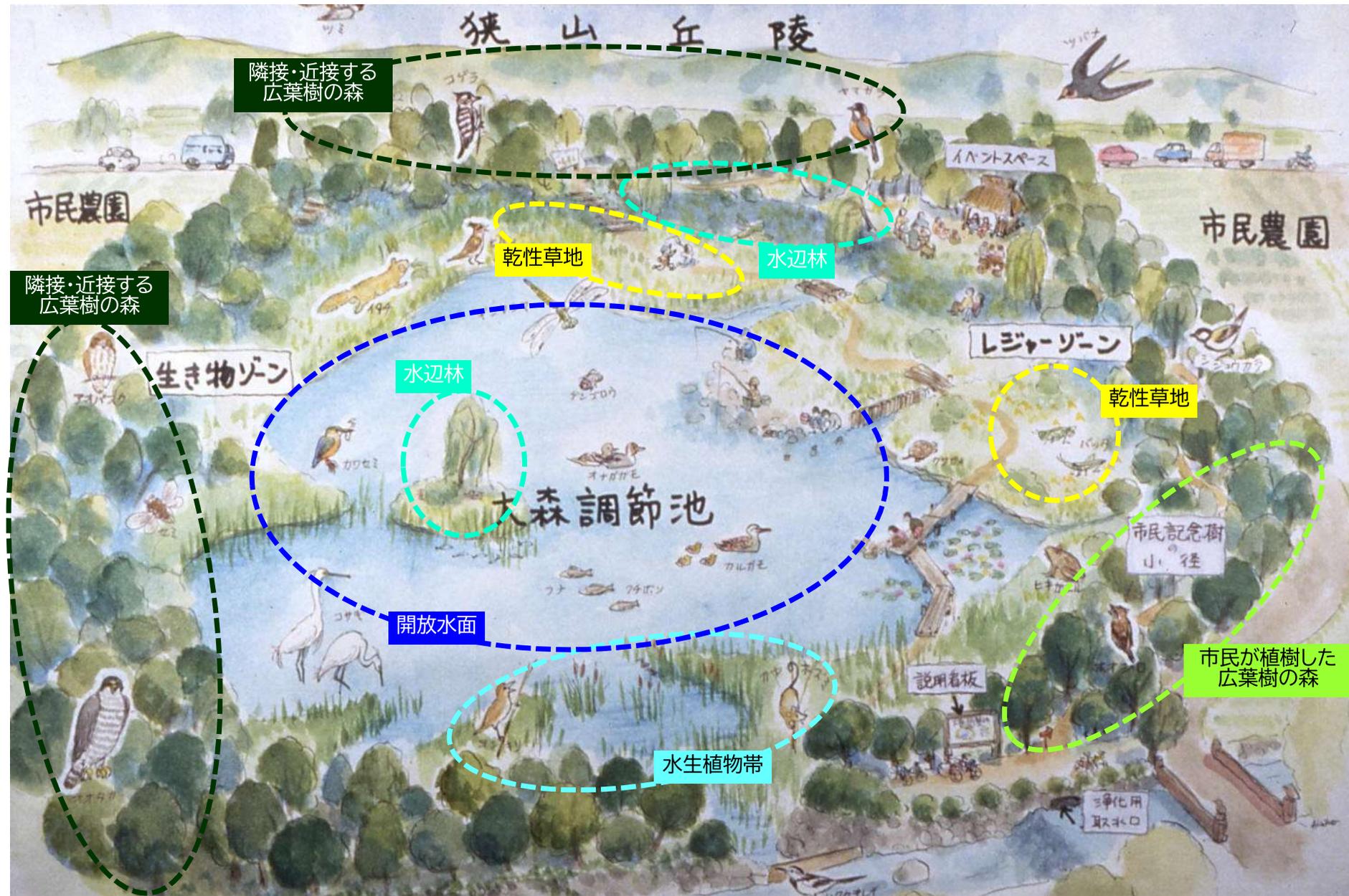


主な構成メンバー

団体 大森調節池の自然を考える連絡会
↳ 埼玉県生態系保護協会・入間支部
↳ さやま環境市民ネットワーク
↳ 新河岸川水系水環境連絡会
↳ (公財) トロのふるさと基金
↳ 不老川流域川づくり市民の会
↳ いるま見どころの会 等
(公財) 埼玉県生態系保護協会

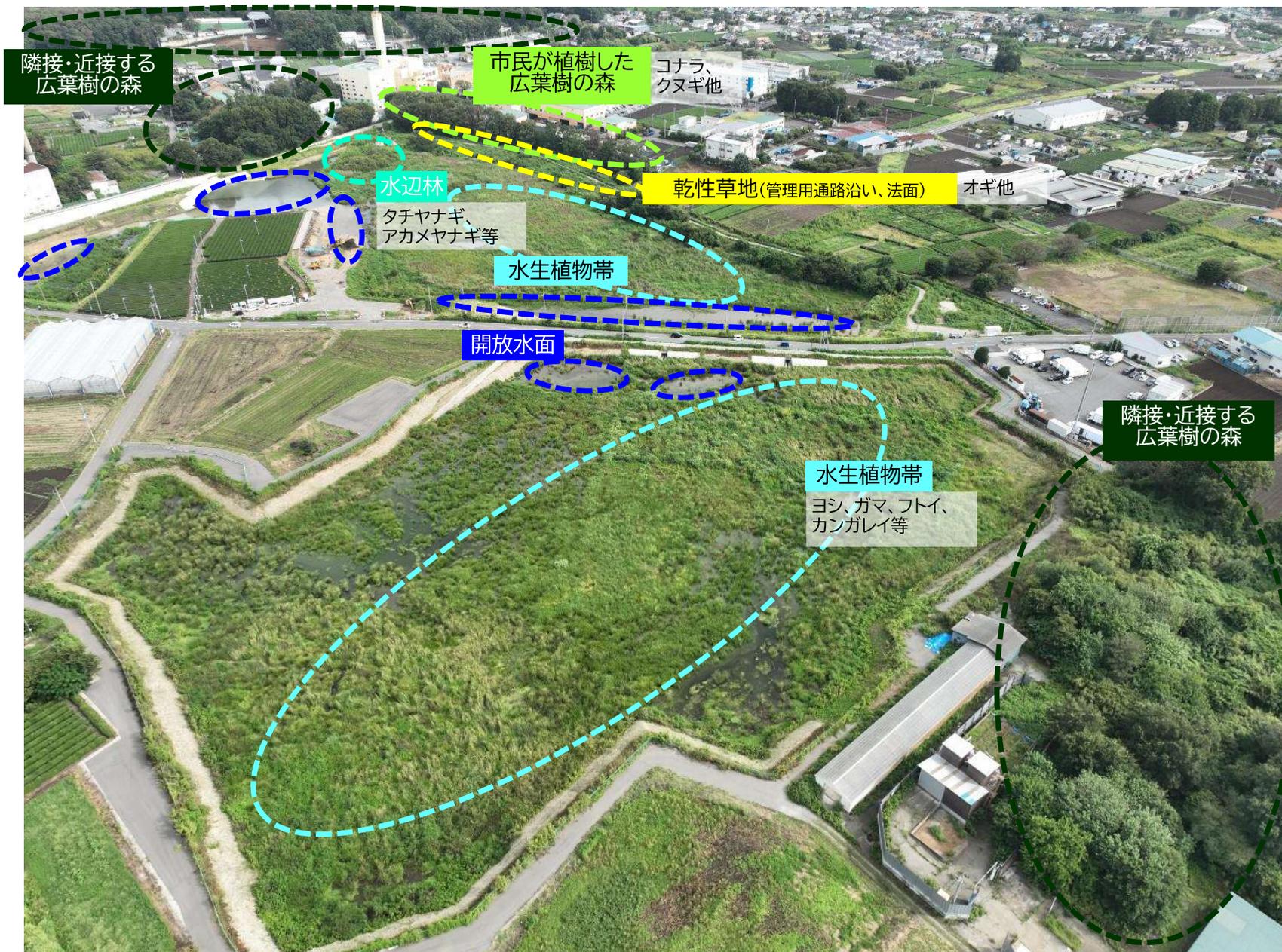
企業 (株) 埼玉りそな銀行
(株) トヨタレンタリース埼玉
(株) 武蔵野銀行

行政 飯能県土整備事務所
埼玉県河川環境課



出典：
 埼玉県生態系保護協会・
 入間支部webサイト

整備初期に
 描かれた
 大森調節池の
 目標像



飯能県土整備事務所提供

ドローン画像
(2023年9月撮影)



草刈り 林の整備 (毎週土曜日)



林の管理作業 間伐 落ち葉掃き



薪やほだ木にします



池のヨシ刈り



キノコ栽培



駒打ち



ウマノスズクサの保護

市内では見られなくなったウマノスズクサは ジャコウアゲハの食草です



花



ジャコウアゲハ♀



蛹



大森サンクチュアリー 第2土曜の青空教室



5月10日(土) 10:00~12:00 雨天中止

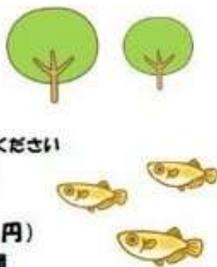
“桑の葉を摘んでお茶を作ろう！”

初心者向け！葉っぱの違いで植物を学ぼう。
野草茶の飲み比べもあるよ。

6月14日(土) 10:00~12:00

“十十フシ探しに挑戦しよう！” 十十フシって？

虫は何を食べてるの？楽しいクイズで虫博士になろう！
桑の実も食べ頃かも。



集合 大森調節池の林

入間市宮寺、所沢市清掃事業所の近く、長沼高亭を目指してください
「大森サンクチュアリー」の看板が目印

参加費 200円 (埼玉県生態系保護協会会員は100円)

持ち物 長靴が便利 飲み物 あれば団扇、虫とり網

*小学生以下は保護者同伴をお願いします。

*普段は入れない場所ですが、当日林でお弁当を食べていくことができます。ご希望の方は申し込み時にお伝えください。

主催 埼玉県生態系保護協会入間支部

場所はこちらをご覧ください→



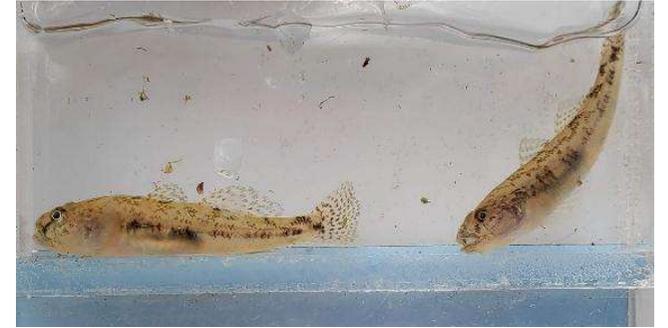
申し込み 080-3548-3707 ヒビ(できればショートメールをお願いします)



観察会



生物調査 水質調査



貴重な植物

タコノアシ



2024.06.08



2024.08.24



2024.11.09

ミクリ



2024.06.08
(花と実が見られた)



2024.08.24

貴重な生息地 ツバメ300羽の埒(ねぐら)入り



南池



水辺と生きもの



トレイルカメラを設置すると
多くの生きものの映像が撮れました



アオサギ、ダイサギ



アオサギ



ゴイサギ 成鳥 幼鳥



カイツブリ?



カモ?



マガモ (冬羽の前)



ハシビロガモ



アライグマ



コジョウケイ



ヒヨドリ



タヌキ



カワセミ



ヒクイナ

大森サンクチュアリー

生き物たち



9°C/48°F 2025/11/08 03:30:28

市民団体・行政「+企業」の連携でヨシ刈りワークショップを開催



■2026年2月1日(日)

調節池の治水機能を維持し、かつ開けた水面を確保して、多様な水辺環境を保全するために、ヨシ・ガマなどの植物を刈って運び出し

市民団体・行政「+企業」の連携でヨシ刈りワークショップを開催



■2026年2月1日(日)

調節池の治水機能を維持し、かつ開けた水面を確保して、多様な水辺環境を保全するために、ヨシ・ガマなどの植物を刈って運び出し

市民団体・行政「+企業」の連携でヨシ刈りワークショップを開催



■2025年12月末(WS開催前)



■2026年2月1日(WS開催後)

武蔵野銀行による広報のご協力



武蔵野銀行・入間支店
(丸広百貨店・入間店内)

埼玉県 SDGs 官民連携プラットフォーム/水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会 ワークショップ

～人を守り、生きもので賑わう大森サンクチュアリ～ 大森調節池でヨシ・ガマの刈り取りと運び出し

長靴で池に入って、背の高い草を刈る・運ぶ体験や、水辺の自然を観察します。
洪水時には私たちの生命と財産を守り、普段は生きもの豊かな場となる大森調節池を、市民・企業・行政のパートナーシップで守りつなぐ活動です。



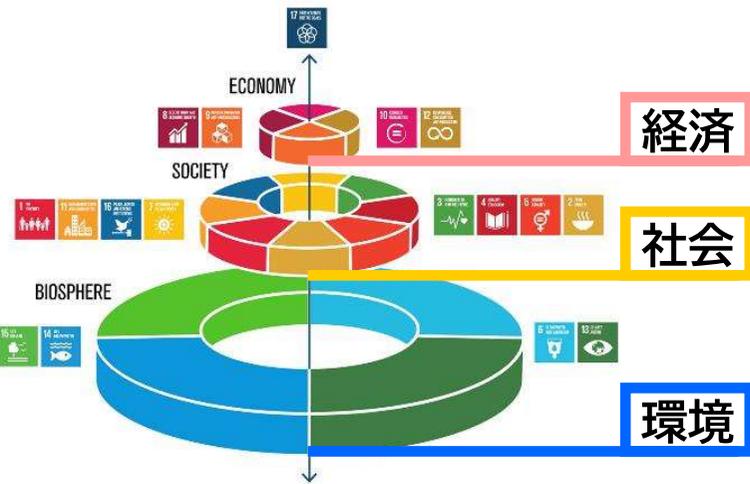
2026年2月1日(日) 9:45～11:30 ※雨や雪の場合は2/7(土)に延期
【集合】大森調節池 ※裏面の案内図をご覧ください。

- 定員 先着30名
- 持ち物 長靴、汚れてもいい服装、軍手、マスク、飲み物
- お申込み・お問合せ ※1月29日(木)締切

(公財)埼玉県生態系保護協会 ecosaitama.volunteer@ecosys.or.jp
件名に「大森調節池イベント」、本文に「お名前/ご所属(組織名)/住所(市町村まで)/メールアドレス」を書いて送信ください。

【主催】大森調節池の自然を考える連絡会、埼玉県(飯能県土整備事務所、河川環境課)
【協力】(公財)埼玉県生態系保護協会

今後の展開について



出所: Azote Images for Stockholm Resilience Centre, Stockholm University 2016
原図考案: Johan Rockström and Pavan Sukhdev

流域に立地する企業が
ネイチャーポジティブ経営や
健康経営を実現する場に



流域に暮らす市民や子ども達が
持続可能な社会の担い手を育む教育や
安全でしなやかな強さを有する
まちづくりを実践する拠点に



水辺の自然を保全・再生することで
気候変動による災害リスクの低減と
ネイチャーポジティブに貢献

